ぬまた市議会だより

第55号
9月定例会
令和元年
11月1日

議場を多目的に利用

議場を利用してＳＤＧｓの研修会

主な内容

・P2～３　9月定例会
（議会インターネット配信）
・P4～５　決算審査特別委員会
・P6～11　一般質問
・P12　行政調査報告

※ＳＤＧｓとは…国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」の略称

沼田市議会HP

9月定例会

9月定例会は、9月3日に開会し、9月25日までの23日間、市当局からの報告、平成30年度決算認定、令和元年度補正予算、条例の制定・改正、教育委員の任命同意など計28件と、議会からの意見書1件を審議しました。また、12人の議員が一般質問を行い、市当局と活発な議論を展開しました。

議会インターネット配信で『家庭と議会をもっと近くに』

12月から生中継開始に 開かれた市議会へ

市議会のインターネット中継を開始しました。現在は、テスト期間として録画映像のみの配信ですが、令和元年12月定例会からは、生中継映像の配信を予定しています。

文章だけでは伝わらない、生の議会を発信していきたいと思いますので、皆様ぜひ、ご活用ください。パソコンの他、スマートフォンなどでもご覧いただけます。

本号から、一般質問のページに質問議員のQRコードを掲載しました。スマートフォンで読み込むと各議員の動画配信ページが表示されますので、ぜひ、ご覧ください。

もっと身近な議会へ

森林環境譲与税 基金化で有効活用へ

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の施行に伴い、森林整備とその推進のため、国から交付される森林環境譲与税を財源とする基金を創設する条例を制定しました。

審査の過程では、基金創設自体は理解されましたが、森林環境譲与税の配分率の問題や、森林環境譲与税の使途が不透明であるなどの意見がだされました。

条例に反対（一部抜粋）

森林環境税は、住民税の均等割に上乗せして徴収し、譲与税として地方に配分するもので、国やCO_2を大量に排出している企業が引き受けるべき負担を、国民個人に押しつけるものです。

市役所臨時職員・非常勤職員の処遇を改善

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律により制定された会計年度任用職員制度への移行を図るため、勤務時間、休日及び休暇等に関する条例、給与及び費用弁償に関する条例を定めました。これにより、臨時職員・非常勤職員の処遇改善が図られます。

豚コレラ感染防止対策 ワクチン接種を要請

『豚コレラ感染防止対策に係る意見書』を、全会一致で採択すべきものと決定し、国に意見書を提出しました。

豚コレラ感染防止対策に係る意見書（要旨）

国内で26年ぶりの豚コレラが発生して以来、1年を経過しました。飼養衛生管理基準の遵守を徹底し、国・県では対策をとっていますが、依然として終息は見えない状況です。

養豚農家は豚コレラの感染におびえながら日々従事し、心身ともに疲弊し、安定した食肉を提供することができなくなることが予想されます。

一刻も早く感染防止に効果のあるワクチン接種が講じられるよう強く要請します。

人事案件

市教育委員の任命（同意）
高橋　昭紀

人権擁護委員の推薦（諮問）
小林　壽子

議会改革特別委員会

効果的な進め方を議論
先進地への視察を

９月に開催した会議では、今後の進め方を検討し、まずは、議会改革の先進地を視察し、進め方を決めるべきといった意見や、講師を招いての勉強会を行っていくべきとの意見が多くだされました。また、議員定数については早めに一定の結論を出すべきとの意見が出され、さらに話し合いを進めていくこととなりました。

10月から11月には大枠の検討事項をまとめ、県内の議会改革先進地である桐生市への視察を行う予定です。

会議で今後の進め方を議論

令和元年第５回９月定例会賛否状況

種別	番号	議案等名	結果	1 星野妙子	2 金子浩隆	3 高柳勝巳	4 三ツ石岩男	5 山宮敏夫	6 茂木清七	7 永井敏博	8 桑原敏彦	9 中村浩二	10 井上弘	11 大東宣之	12 井之川博幸	13 野村洋一（議長）	14 島田康弘	15 大島崇行	16 髙山敏也	17 戸部博	18 久保健二	19 星野稔	20 星野佐善太
報告	第13号	専決処分報告について（令和元年度沼田市一般会計補正予算（第３号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第14号	平成30年度沼田市一般会計継続費精算報告書について	報告終了	＼	＼	＼	＼	＼	＼	＼	＼	＼	＼	＼	＼	＼	＼	＼	＼	＼	＼	＼	＼
議案	第64号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第65号	沼田市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第66号	沼田市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第67号	沼田市森林環境譲与税基金条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第68号	沼田市税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第69号	沼田市地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第70号	沼田市行政財産使用料条例等の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第71号	沼田市印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第72号	沼田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第73号	沼田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第74号	沼田市保育園条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第75号	沼田市建築基準法関係手数料条例等の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第76号	沼田市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第77号	沼田市民体育館の設置及び管理条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第78号	旧沼田貯蓄銀行設置及び管理条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第79号	平成30年度沼田市一般会計及び特別会計７件の歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第80号	平成30年度沼田市水道事業剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第81号	令和元年度沼田市一般会計補正予算（第４号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第82号	令和元年度沼田市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第83号	令和元年度沼田市介護保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第84号	令和元年度沼田市簡易水道事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第85号	令和元年度沼田市下水道事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第86号	令和元年度沼田市電気事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第87号	令和元年度沼田市水道事業会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第88号	沼田市教育委員会の委員任命の同意について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
	第89号	豚コレラ感染防止対策に係る意見書案について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○
諮問	第２号	人権擁護委員の推薦について	異議なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○

■各記号の見方　○…賛成の者、×…賛成でない者、－…欠席または退席

平成30年度政務活動費 会派別収支報告
（平成30年４月１日～平成31年３月31日）

会派名	人数	交付額	支出額	戻入額
日本共産党沼田市議団	2人	240,000円	240,000円	0円
沼田創生会 ※4/23～9人	9人	1,070,000円	892,967円	177,033円
新政同志会	5人	600,000円	338,678円	261,322円
星野妙子（会派外議員）	1人	未申請		
金子浩隆（会派外議員）	1人	120,000円	120,000円	0円
井上　弘（会派外議員）	1人	120,000円	89,107円	30,893円
高柳勝巳（会派外議員）	1人	未申請		

※ホームページで会派別に支出明細、領収書写、視察報告等のデータを公開しています。

決算 平成30年 審査

どう活かされた？私たちのお金

決算審査特別委員会

特別委員会は、平成30年度決算関連議案2件を審査することを目的として、委員長に高柳勝巳議員、副委員長に三ツ石岩男議員を選出して、延べ４日間にわたり審査しました。

審査では、主要な施策に対して予算がどう活かされているのか、事業の進み具合はどうなのかなど、延べ30人が１３７件の質疑を行いました。

平成30年度は、庁舎等複合施設整備事業などの大型事業のほか、新議場議会運営システムの整備、伝統工芸の伝承に向けた地域おこし協力隊の採用、谷地端団地での多世代共生住宅整備事業、沼田市歴史資料館の整備、武道場整備事業実施設計業務、新学校給食センターの実施設計業務などの事業が実施されました。

採決の結果、いずれも原案可決及び認定すべきものと決しました。

決算に反対（一部抜粋）

沼田市政における史上最高額の決算でした。削減した職員の穴埋めとして、非正規職員が４割を超えるなど、ワーキングプアを行政自らが生み出す傾向もみられます。保育料はすべての子どもの無料化を進めるべきでした。中心市街地土地区画整理事業は、ただちに中止すべきです。学校給食はセンター方式でなく自校方式とするべきでした。国保税は一般会計から繰り入れをして引き下げるべきです。

決算に賛成（一部抜粋）

第６次総合計画に積極的に取り組み、元気で活力ある、よりよいまちづくりのために執行してきた予算であると認められます。主要施策をはじめ、諸事業を着実に実行され、確実な成果をあげられたものと評価いたします。今後は、成果をあげられた諸事業のさらなる推進と、特別委員会で指摘された諸課題の事業への反映、社会情勢の変遷をとらえた事業の再編を期待します。

◆沼田市の財政状況は？

平成30年度決算の財政状況では、一般会計及び特別会計７件の決算総額は、歳入が前年度比６・８％増の４１６億５２９万２，９７２円、歳出が前年度比６・０％増の４０２億５，３０３万５，９６１円、歳入歳出差引額１３億５，２２５万７，０１１円の黒字で収束しました。

財政構造を測る指標の経常収支比率は、前年度より０・５ポイント改善しましたが、財政の硬直状況が続いています。

①経常収支比率は、財政構造の弾力性を測る指数で、経常経費を経常一般財源で割ったものです。数値が低いほど自由に使える財源が多く、高いほど硬直していることを表します。

②財政力指数は、自治体の財政力を示すもので、基準財政収入額÷基準財政需要額の３ヵ年の平均値を用います。数値が高いほど自主財源割合が高く、財政力が強いことを示しています。

③実質公債費比率は、一般会計が負担する公債費と、これに準ずる額の大きさを数値にしたもので、高くなると他の事業に充てる財源を圧迫します。これが18％を超えると起債に許可が必要になります。

財政の硬直化は？
①
経常収支比率
95.2
前年度比0.5ポイント改善
県内12市中５番目

余力はどのくらい？
②
財政力指数
0.521
前年度比0.005ポイント改善
県内12市中12番目

財政は健全？
③
実質公債費比率
9.2
前年度比0.4ポイント改善
県内12市中11番目

◎主な質疑

決算審査特別委員会で行われた主な質疑について、概要を掲載します。

★水と緑の大地ふるさとぬまた寄付事業

Q寄付者数の推移と当該年度の結果についてどのような評価がされ、課題についてどのように検討されたのか伺います。

A当該年度は1，393人の方からご寄付をいただいており、過去3年間の平均では、毎年約30％増加しています。また、寄付金額は、3，374万8，000円で、寄付者数と同程度増加しています。これは、寄付を受け付けるポータルサイトを増やしたこと、アマゾンペイなどの決済手段の多様化に対応したことなどにより、それぞれ増加につながったものと考えています。

★特殊詐欺等対策事業

Q事業の成果について伺います。

A電話勧誘による特殊詐欺や悪質商法の被害から市民を守るため、通話を自動で録音するなどの機能を有する電話機等の購入に対し、その購入費及び設置費の一部を補助する事業として開始しました。本年1月に事業を開始し、約3か月間で、29人の方に補助金を交付しました。

★家庭児童相談事業

Q児童虐待などの発生状況とどのような対応がされてきたのか伺います。

A当該年度は26件の児童虐待相談があり、年々増加傾向にありますが、いずれも早期支援により、重篤な事例は発生していないと認識しています。対応では、家庭児童相談室に家庭児童相談員2名、つぼみサポート支援員1名を配置し、児童相談所や警察署などの関係機関と連携を図りながら、面談や電話により、支援を必要とする児童の早期発見、早期支援を行いました。

★生活困窮者自立支援事業

Q子どもの学習支援内容と成果について伺います。

A生活保護世帯と生活困窮世帯を対象として、訪問型の学習支援を中学生1名、集合型の学習支援を小学生14名、中学生9名を対象として、事業者に委託し実施しました。

★企業誘致推進事業

Q事業の内容と効果について伺います。

A当該年度工業専用地域の市道横塚中央線の道路幅を拡幅しました。製造業以外ですが、道路の完成に伴い、新規事業者の用地取得がありました。

★観光宣伝事業

Q成果と今後の課題（首都圏を中心とした宣伝誘客業務委託料）を伺います。

A首都圏での観光誘客やPR業務、インバウンド関連業務や、「BSジャパン・空から日本を見てみよう」「朝日新聞デジタル」などのテレビ番組やデジタルメディアへの掲載に成功しています。課題は、低コスト、低労力で迅速に効果的な情報発信をすることで、SNSを中心としたITメディア利活用の充実が求められると考えています。

★（仮称）利南運動広場整備事業

Q工事の進捗状況と維持管理、活用の検討について伺います。

A本年3月末現在の進捗状況は、建築工事が12・1％、土木工事が14・3％でした。維持管理の手法や利用促進等の方策を検討しました。

工事が進む（仮称）利南運動公園野球場

★歴史資料館設置事業

Q事業内容を伺います。

A遺跡の発掘調査による出土資料と土岐家からの寄贈資料を中心に、地元の化石や真田氏の戦国期の歴史を記した加沢記の草稿などを収集しました。企画展では、沼田の歴史を掘り下げたり、市民生活に密着したテーマの展示による増客の検討をしました。

一般質問

安心・安全な生活環境整備の充実を！

中村　浩二

Q水道施設の老朽化における各施設の改修及び布設替等の推進について伺います。

A機器類の点検等を行い状態を把握し延命措置を施すとともに施設の重要度を考慮し、財政面に配慮しながら改修・更新等を実施したいと考えています。

Q水道事業会計に伴う今後の料金推計について伺います。

A事業費の大幅な増額を必要とする更新計画等を実施する場合には、料金改定が必要となることも想定され、その際には利用者の理解が得られるよう十分な対応が必要と考えています。

Q野生鳥獣被害対策の充実による農業生産等の保全について伺います。

A野生鳥獣被害対策として、捕獲従事者の負担軽減を図るとともに捕獲に必要な罠等の資材の支給を行い、今後の捕獲の強化につなげたいと考えています。また、野生鳥獣から農地を守るための侵入防止柵設置などをしています。

Q温泉文化ユネスコ無形文化遺産登録推進等に伴う本市の取り組みについて伺います。

A「温泉文化ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会」が発足され、老神温泉観光協会も参加しています。本市においても、老神温泉や関連する各産業の発展のため、国、県等、関係機関と連携を図りながら登録実現に向けて協力したいと考えています。

※その他の質問

・環境美化条例や景観条例等、群馬デスティネーションキャンペーン（DC）など

上水道沈砂池（白沢町高平地内）

お互い様のまちづくり

高柳　勝巳

Q人生100年時代に対応した「新しい公共」の在り方とお互い様のまちづくりについて伺います。

A地域の課題を地域で考えていく協議体の設置に向けて勉強会を開催し、一部では買い物支援サービスや運動教室の集まりをきっかけとした地域サロンが始まっています。

　今後も、地域に不足するサービスの創出、サービスの担い手の養成及び地域と連携する体制づくりなどを進めていきたいと考えています。

Q8050問題やダブルケアなど複合的課題へワンストップ対応する「断らない相談支援」体制構築の検討について伺います。

A国では、地域共生社会推進検討会において、複合的な課題に一元的に対応できる窓口の創設など、「断らない相談支援」の実現に向けて、新制度創設を検討しています。

　本市でも、国の動向を注視し、「断らない相談支援」について研究していく考えです。

QDV相談等のための公共施設の柔軟な使用の検討について伺います。

A本市では、プライバシーに配慮しながら、テラス沼田内の会議室等を柔軟に使用して相談を受けていますが、命に関わる緊急な対応を必要とするケースもあることから、引き続き慎重かつ柔軟に対応をしていく考えです。

ワンストップ対応が求められる相談窓口

市政を問う!!

人口減少時代のまちづくり

金子　浩隆

Q旧庁舎跡地(西倉内)の利活用について、昨年から4回にわたって一般質問してきました。今回の民間事業者の公募は、何件の提案があって、どんな提案があったのでしょうか。

A民間のノウハウを活かし、市財政への貢献、地域の活性化を目的として、民間提案制度により事業者を公募しました。資金計画や土地利用の方法、建物の解体手法などを明確にすることなどを条件に、4事業者から提案書が提出されました。令和2年2月末日までに協議を調え、事業化したいと考えています。

Q急激な人口減少に、何としても歯止めをかけなければなりません。沼田市北部工業団地を拡張造成し、企業誘致に積極的に取り組むべきではないでしょうか。

A「地域未来投資促進法」に基づき策定された「群馬県基本計画」が、平成29年度に国の同意を得、北部工業団地を含む町田町字土塔原地域が重点促進地域として、同計画に位置付けられました。現在、同工業団地への新たな拡張造成は行っていませんが、社会情勢や企業の立地進出意向等、調査研究を進めながら、検討したいと考えています。

Q旧笹谷ホテル跡地のテラス沼田平面駐車場利用者が国道の信号のない所を直に横断する危険な姿を多く見かけます。中心市街地再開発事業の一環としても提案してきた、テラス沼田東側の平面駐車場整備計画はどうなっているのでしょうか。

A用地の取得に向け地権者との協議を開始しましたが、諸般の事情により、取得には至りませんでした。

観光、外国人誘致と滞在してもらうには

三ツ石　岩男

Qインバウンド事業を活用し、もう一度活気ある老神温泉復活に向けた施策を伺います。

A老神温泉を中心としたインバウンド事業に注力しています。台湾紅茶の父といわれる利根町出身の新井耕吉郎氏のご縁により、平成27年から台湾南投県魚池郷と交流を進め、商談や展示会に参加するなど、台湾からの誘客事業を展開しています。また、了解覚え書きを交わしているタイや、海外販路事業で関係する中国、ベトナムなどにおいてもインバウンド獲得につなげたいと考えています。

Q吹割の滝に滞在し観光客に回遊してもらうのか伺います。

A国の「天然記念物及び名勝吹割渓ならびに吹割瀑」の指定を受け、年間約80万人の観光客が訪れています。

沼田市は玉原高原や老神温泉、観光果樹園や高品質な農産物、真田氏や土岐氏に関する遺産など「自然・食・歴史」に関する多くの観光素材がありますので、沼田市観光協会など関連団体と連携し、ネットワーク化を図ることで、より回遊性のある観光ルートを考えています。

Q沼田公園や市役所跡地など山車(まんど)や御輿を展示し観光の目玉とする施設について

A沼田まつりは、3日間で20万人以上の方が訪れる本市最大のイベントです。まつりで運行される山車や御輿を展示することで一年を通し、まつりのPRを行い、雰囲気を醸成することは大変素晴らしいことですが、設置費用、効果、場所、ランニングコストや現在進行中のファシリティマネジメントとの整合性など、総合的な観点から研究したいと考えています。

吹割の滝

災害に強いまち、スポーツ観光イベント開催

山宮　敏夫

Q避難場所・避難所の安全確保について、全ての場所において、安全確認確保が行われているのか伺います。

A地域防災計画により指定をしています。避難所の開設に際しては、地震、水害や土砂災害の発生など、その災害に対し安全な避難場所を選定した上で開設し、避難所の安全確保に努めています。

Q災害時の実働組織の種類と活動内容について、実働組織名を挙げて活動内容を伺います。

A沼田市地域防災計画に基づき、市長を本部長とする災害対策本部を設置し、群馬県・警察・消防・自衛隊などの防災関係機関と連携して災害対応を行っています。活動内容は、防災計画に定める応急対策として、被災状況の情報収集及び情報伝達、二次災害の防止活動、救急救助活動、避難収容活動、食料等の調達・供給活動などを行い、被災者対応を図っています。

Qテラスや市内温泉施設、玉原高原などを活用したマラソン大会やマラニック大会、自転車ヒルクライム大会開催について伺います。

Aスポーツイベント開催による観光客の誘客は、交流人口や観光消費額の増加に直接影響のあるものと考えています。大きな魅力である自然や温泉、果樹に代表される高品質な農作物にも恵まれており、イベントを実施することで本市のＰＲや今後の誘客へと繋がる可能性があると考えられますので、他のイベントとのバランスや、実施による経済効果、実施主体となり得る団体の有無など総合的に研究したいと考えています。

地域の遊び場・公園に知育遊具整備を

星野　妙子

Q発達障がいや内部障がい・人工関節など見えない障がいをもつ方々へ配慮と援助を求めるヘルプマークが8月20日から交付開始となりました。市民皆様へ理解や協力を促す啓発活動について伺います。

Aホームページ・広報ぬまたへ掲載し周知をすると共に、思いやりある行動の市民意識の醸成を図り、関係団体と様々な機会を捉え事業充実に努めます。

Q高齢ドライバーの運転支援策としてブレーキとアクセルの踏み間違い防止ペダル及び安全運転支援システム車等の購入費補助の導入について伺います。

A本市では高齢者の運転免許証返納を推進しており補助制度導入については、研究します。

Q成人期における定期的な歯科検診を怠ると歯周病となり生活習慣病や認知症・脳梗塞を引き起こします。沼田市の歯科口腔保健対策について伺います。

Aライフステージにおける口腔ケア、健康保持促進事業の普及啓発に取り組んでいます。

Q白沢地区、子どもの遊び場、公園の整備について伺います。

A白沢地区における子どもの遊び場としての知育遊具整備について、必要性を含め今後検討します。

Q来年から全面実施となる新学習指導要領ＩＣＴ環境整備について教育長に伺います。

A急速に情報化が進展する中、発達の段階に応じ情報教育全体計画を作成、情報モラルを含む情報活用能力育成や環境整備・学習活動の充実を推進します。

十王公園の知育遊具（高橋場町）

市政を問う!!

ドローンによる地方創生を目指して

桑原　敏彦

Qドローンによるインフラ点検の推進について伺います。

A人手不足の解消や経費の削減につながると認識していますが、点検基準等が定まっていないため、動向に注視し、使用について検討したいと考えています。

Q農業分野におけるドローンの導入について伺います。

A先進的な農業経営の確立に意欲的な地域の担い手に対し、農業事務所と情報を共有し、必要な農業用機械・施設の導入を支援していきたいと考えています。

Q土木・建設業界におけるICT化の必要性について伺います。

A土木・建設現場においては、担い手不足等が問題になっており、ICT技術の活用により、経営環境の改善や人手不足の解消等の効果が期待されています。情報収集を図り、動向等を注視したいと考えています。

Q林業の人手不足解消と森林保全に活躍するドローンの必要性について伺います。

A林業従事者の負担軽減につながるため、林業従事者及び関係機関からの意見を伺いながら、必要性を研究したいと考えています。

Qドローンによる観光名所の発掘と空中観光案内について伺います。

A今後のドローン活用の可能性を広げるきっかけになるため、調査・研究を進めていきたいと考えています。

Q観光地の安全対策に対するドローンの必要性について伺います。

A目視では不可能な撮影アングルにより確認できることは、従来の方法よりも安全で的確な判断を可能にするため、調査・研究を進めていきたいと考えています。

ブランド力と交流によるまちづくり

茂木　清七

Q海外販路開拓支援事業推進協議会を立ち上げ、積極的に取り組んでいますが、海外販路開拓事業について伺います。

A昨年10月には中国の成都・江油市に視察に行き、本年6月に江油市と「友好協力関係構築に関する覚書」を締結しました。また、11月には成都市で、来年1月にはベトナムで展示会の予定もあります。引き続き関係者と連携を図り沼田市特産品の販路拡大に向けて取り組みたいと考えています。

Q担い手確保について伺います。

A新規就農者を受け入れる農業者とのマッチング、効率的な農地集積が図れるよう支援します。また、ぬまた起業塾でも農業生産や加工を選択した塾生もおり、新規参入の支援もしたいと考えます。林業の分野では、地元産材の需要拡大、森林施業の効率化のため、国や県と連携して取り組んでいきます。

Q耕作放棄地の有効活用と野生鳥獣の被害の現状と今後の課題について伺います。

A耕作放棄地は、再生可能か再生困難か利用状況を調べ、規模拡大を考えている農家とのマッチング、農業委員会、利根沼田農業事務所と連携して今後も再生活動に取り組みたいと考えています。野生鳥獣の農産物被害の減少に向けて、近隣市町村と連携を図り推進したいと考えています。

Q給食センターの地産地消の取り組みについて教育長に伺います。

A平成30年度の利根沼田産農産物の使用割合は、主食・牛乳を除き27%、県内産で44・7%です。また、新給食センターでは利根沼田産のお米を、日本初の精米の上炊き立てで提供可能となり、郷土食、郷土愛のさらなる醸成が図れると考えています。

子供たちが安心して学べる学校環境づくりを

井上　弘

Q定住自立圏構想の推進状況を伺います。

A利根沼田地域の5市町村が相互に役割を分担し、連携協力しながら、本地域において必要な生活機能を確保していくための取り組みとして、「定住自立圏構想推進要綱」に基づく事業の推進に向けて、今年度、具体的な検討を始めたところです。

Q熱中症対策のさらなる充実に向けての計画があるのか教育長に伺います。

A今年度、水泳中の熱中症を防ぐために、水泳に適する気温と水温を例示したところ、その温度を目安に夏休みのプール開放を判断した学校もありました。今後は、熱中症の事例や各学校の取り組み等をもとに、体育の授業や部活動等の屋外や体育館における活動に対するさらなる予防策を検討し、例示していきたいと考えています。

Q児童生徒、保護者に安心を与える学校運営を教育長に伺います。

A各学校は、信頼される学校づくりを目指し、特色を活かした質の高い教育を推進し、保護者や地域社会との信頼関係の構築に努めています。また、安全教育の充実を図るとともに、教職員の危機管理意識の高揚などの資質向上にも取り組んでいます。

Q家庭教育支援チームによる訪問型家庭教育支援の研究状況を教育長に伺います。

A平成30年度に1団体、家庭教育支援チームの登録を行い、今年度は、群馬県が主催する研修会、講座等で情報収集に努め、地域における家庭教育活動を支援する取り組みを始めました。

県教育委員会、市長部局、各種団体等と連携を図り、引き続き研究したいと考えています。

人口減少に対応した中・長期的財政計画を

井之川　博之

Q合併特例債活用後の財政計画、人口減少に対応した中・長期的財政計画、計画されている合併特例債活用後の残額について伺います。

A庁舎整備をはじめ近年の大型事業の財源として合併特例債を活用しており、来年度で発行可能限度額に達すると認識しています。

Q5年後及び10年後の人口予想数と財政規模並びに実質公債費比率の計画について伺います。

A令和7年度で4万3，677人、令和12年度で3万9，981人と推計し、大幅な減少が見込まれます。財政需要に見合った適切な財政規模の維持に努めたいと考えます。また、実質公債費比率は、令和2年に地方債の残高がピークを迎え、償還額のピークが令和4年頃になると推計しており、実質公債費比率が上昇する見込みですが、その後は地方債の発行を元金償還額以下に抑制し、地方債残高の減少、実質公債費比率の抑制に取り組みたいと考えます。

Q市街地への居住再生、歩いて暮らせるまちづくり・コンパクトシティ、中心市街地及び周辺の住宅政策について伺います。

A中心市街地土地区画整理事業は、居住環境の改善を進めており、権利者等と協議しながら、街なか居住の推進を図りたいと考えています。

Q安心して暮らせる市営住宅、利用者の高齢化などへの対応、住む人に合わせた改修の制度化について伺います。

A入居者が市営住宅の模様替えや増築等を行う場合の規定が定められていますので、今後どのような対応ができるか、研究したいと考えます。

市営住宅玄関前の階段横に付けた手すり

市政を問う!!

未来志向の市政運営を

島田　康弘

Q 沼田市外二箇村衛生施設組合の運営する清掃工場の老朽化の現状について伺います。

A 昭和49年に建設、ダイオキシン対策による基幹改修工事や軽微な修繕等を行いましたが、経年による施設の老朽化が進み、今年度より5か年計画で焼却炉等の大規模修繕を行う予定であると聞いています。

Q 「新たな視点」での効果的な施策展開について伺います。

A 群馬県一般廃棄物処理広域化マスタープランに基づき利根沼田地域における広域処理を前提に、利根沼田ブロック一般廃棄物処理広域化協議会設置に向けた協議・検討を行っています。今後、この協議会が設立された折には、その中で、効果的施策展開が図られるものと考えます。

Q 「定住自立圏構想」を視野に入れた広域処理の基本的考え方について伺います。

A 定住自立圏構想の対象事業は広域連携により効果的な執行や事業成果が期待できる事業とされていますので、この制度の活用も考慮していきたく思います。

Q 人口減少の未来を見据え、より少ない資源で最大の効果をもたらすための「横断的な政策課題に的確に対応できる行政組織の改革」について伺います。

A 社会情勢のめまぐるしい変化などにより、多分野にわたる行政課題も増加しており、それらの課題への迅速かつ的確な対応のために定期的に、また必要に応じて部長会議などの幹部会議を開催し、日々の課題に対する情報共有や組織間連携で、行政サービスの向上に努めています。

老朽化の進む沼田市外二箇村清掃施設組合の清掃工場

消費税、子育て支援、高齢者支援

大東　宣之

Q 市経済、市民生活への影響をどのように考え、対応をどのようにすすめるのか伺います。

A 消費税率引き上げによる経済活動を中心とした景気の動向や医療、介護、教育を初めとした市民生活全般への影響が大いに懸念され、低所得者への配慮、市経済や市民生活の好転が図られるよう、国の積極的な経済対策に期待しています。

Q 消費税増税について市長はどのように考えているのか伺います。

A その方向は意義あるものと考えておりますが、消費者心理や事業所に及ぼす影響、低所得者対策等について懸念しています。

Q 給食費の実費徴収にともなう影響を受ける利用者数と対応はどのようにされるのか伺います。

A 新たに給食費の実費徴収の対象となる子どもは674人ですが、年収360万円未満相当の世帯や第3子以降の子どもの副食費は免除されるため、394人が免除の対象となる見込みで、給食費は、各園が設定する副食費実費相当額を施設ごとに納めていただくこととなります。

Q 一人暮らし老人への対応をどのようにすすめるのか伺います。

A 援護が必要と思われる高齢者を在宅介護支援センターの相談員が訪問し、各種福祉サービスへの連絡調整等を行っています。

Q 孤立老人への対応をどのようにすすめるのか伺います。

A 老人クラブ役員や各地区民生委員による訪問などで見守るほか、緊急時に備えて、在宅介護支援センターのひとり暮らし高齢者への訪問、身元引き受けを行うNPO法人の紹介など等により、今後もきめ細かい対応を進めていきたいと考えています。

行政調査報告

沼田市議会では、毎年、委員会ごとに先進自治体等の行政調査を実施しています。
今回は、昨年度の民生福祉常任委員会の概要を掲載します。

民生福祉常任委員会

平成30年7月23日～25日、石川県白山市及び金沢市、滋賀県野洲市、静岡県静岡市において、**地域福祉のまちづくりと生活困窮者対策**をテーマに行政調査を行いました。

白山市及び金沢市では**「ごちゃまぜの福祉」**として互助・共助の地域コミュニティーの中で運営される**「社会福祉法人佛子園（B's行善寺とシェア金沢）」**を視察しました。行善寺では、障がい者はそれぞれ役割を持って働き、地域住民と共生しており、地域づくり、生涯活躍の社会のモデルとして、地域住民との信頼関係が確立されていると感じました。

「B's行善寺」を視察

野洲市では、税金や給食費の滞納から生活困窮状態にある市民を支援する**「生活困窮者支援」「債権管理条例」**の取り組みを調査しました。市民からの相談から課題を把握して各機関につなげることで、生活再建や自立に結びつけていました。特に本市でも野洲市の「やすワーク」を参考に、ハローワークとの一体的な連携による就労支援と生活支援を行える仕組みの構築をしていかなくてはならないと考えました。

静岡市では、全国でも先進的な活動に取り組んでいる**「NPO法人フードバンクふじのくに」**を視察。本市でのフードバンクの具体化に向けた検討のため、その運営方法や取り組みを調査しました。フードバンクは『自立支援などの相談に結びつけていく窓口機能』であることを再認識し、市民の周知や参加方法を見直し、どう進化させ取り組んでいくのか、「もったいない」から「ありがとう」の輪が広げられるよう努力していきます。

「野洲市役所」の前で

次回定例会の日程

次回定例会は、12月10日(火)からの予定です。
ぜひ傍聴にお越しください。

編集後記

秋が深まりを増してきました。熱い夏が終わり、中山間地の沼田市では、正に実りの秋を迎え、林檎や葡萄、柿、茸などの美味しい食べ物、さらには、品質の高いお米、そして何よりも増して、素晴らしい大自然、夕焼けに染まる子持山、澄み切った空気に映える谷川連峰、全て沼田市ならではの宝物です。

さて、第5回沼田市議会定例会では、令和元年度沼田市一般会計補正予算、平成30年度決算審査、その他重要な審議をしました。

一般質問では、多くの議員が様々な切り口から質問をし、市長から前向きなご答弁をいただきました。

私たち議会だより編集委員は、今後も親しみやすく、分かりやすい議会だよりを目指し、活動して参りたいと考えます。

編集委員　山宮　敏夫

議会だより編集委員会
委員長　井上　弘
副委員長　星野　妙子
委員　高柳　勝巳　山宮　敏夫　永井　敏博　大東　宣之　髙山　敏也　戸部　博

発行／沼田市議会
編集／議会だより編集委員会
印刷／有限会社利根印刷所
住所／〒378-8501　沼田市下之町888
TEL:0278-23-2111　FAX:0278-22-6333
ホームページ　http://www.city.numata.gunma.jp